

における陽性者に対する医療機関受診勧奨担当者の大部分が保健師であることから、保健所または市町村における母子保健および感染症蔓延防止対策部署等に属する保健師を対象とした研修会において、「ウイルス肝炎に対する最新の抗ウイルス療法と医療費助成制度の現況」のテーマで講演を行い、保健所や保健師の方々にウイルス肝炎治療の現状について理解を深めていただいた。最終的に追跡調査のための説明会を開催し、追跡調査に同意していただいた7市7町1村から肝炎ウイルス検診陽性者に対して調査表を送付した。追跡調査に同意していただいた7市7町1村は、2次医療圏別にみると岐阜医療圏が3市1町、中濃医療圏が2市3町1村、西濃医療圏が1市3町、飛騨医療圏が1市である。調査対象者は、老人保健法に基づく節目検診と節目外検診（14～18年）における陽性者、あるいは健康増進事業（19～23年）における陽性者を合わせた計687人である。現在調査表を回収中であり、今後集計分析する予定である。

D. 考察

平成20年4月から24年11月にかけてのインターフェロン治療医療費助成申請件数は2039件（B型肝炎50件、C型肝炎1989件）、また22年4月から開始されたB型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療医療費助成申請件数（24年11月まで）は1225件であった。申請されたB型肝炎の治療をみると、インターフェロン治療は39歳以下が、一方核酸アナログ製剤治療は40歳以上でエンテカビルの投与がほとんどであり、おおむね肝炎治療ガイドラインに沿って治療がなされているものと思われる。また申請されたC型肝炎の年齢は、患者の高齢化もあり60歳以上が半数以上、70歳以上も約12%を占めていた。C型肝炎の治療内容をみると、セロタイプ1、高ウイルス量例では多くがペグインターフェロン+リバビリン併用療法、ついで最も新し

い抗ウイルス治療であるペグインターフェロン+リバビリン+テラプレビル3剤併用療法が、またセロタイプ2、高ウイルス量例ではほとんどがペグインターフェロン+リバビリン併用療法が施行されていた。一方低ウイルス量例では大部分でペグインターフェロン単独療法が、またセロタイプ1では一部再治療例を中心にペグインターフェロン+リバビリン+テラプレビル3剤併用療法が施行されていた。C型肝炎においてもおおむね肝炎治療ガイドラインに沿って治療がなされているものと思われる。

岐阜県内でこれまでに肝炎ウイルス検査を実施している1482医療機関（23医師会）に対して、肝炎ウイルス検診陽性者の診療状況を把握する目的で、岐阜県ウイルス肝炎対策研究部会および岐阜県医師会と連携しアンケート調査を実施したが、回答症例はわずか26例にとどまり、成果をあげることができなかった。この26例の診療状況は、専門病院へ紹介された症例が9例（34.6%）、自院にて診療が15例（57.7%）、再診なしが2例（7.7%）であり、治療内容をみると専門病院へ紹介された9例においてのみ2例でインターフェロン治療が施行されていた。またトランスアミナーゼ異常例では専門病院へ紹介された症例の比率が高かったが、一方トランスアミナーゼ正常例では専門病院へ紹介された症例の比率が低く、自院での経過観察例が多かった。

岐阜県において平成14年～18年にかけて施行された住民検診（節目検診、節目外検診）により、HBV感染者は節目検診で1,419人、節目外検診で435人、合計1,854人（陽性率0.96%）、一方HCV感染者は節目検診で1,774人、節目外検診で1,016人、合計2,790人（陽性率1.48%）が発見されている。しかしながら、すでに医療機関を受診治療中の陽性者は肝炎ウイルス検診を受けていない可能性はあるものの、ウイルス検診受診率はたかだか30%程度であり、今後もさらに潜在している肝炎ウイルスキャリアー発見のためには、肝炎ウイルス検査の啓蒙を各医療

機関におけるリーフレット、県民健康セミナー、市民公開講座、新聞やラジオ報道などを通じて継続していく必要がある。さらにもう一つの大きな問題点は、これまで肝炎ウイルス検診陽性者に対しての追跡調査が行われておらず、検診後の医療機関受診状況や治療の実態が全く把握されていないことである。以前に岐阜県下 42 市町村に対して、平成 14 年から 20 年にかけての肝炎ウイルス検診実施状況について調査した結果では、ほとんど（約 6～7 割）の市町村において肝炎ウイルス陽性対象者リストが保管されており、さらに医療機関への受診が勧奨（多くは保健師による）され、約半数の市町村では医療機関での受診結果も把握はしているものの、医療機関受診後の追跡調査を施行している市町村はほとんどなかった。

そこで肝炎ウイルス検診にて陽性を指摘されているにもかかわらず 1 次医療機関あるいは専門医療機関を受診していない肝炎ウイルスキャリアーの実態や治療状況を把握する目的にて、肝炎ウイルス検診陽性者に対して追跡調査を計画した。まず厚生労働省「肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究」班から岐阜県健康福祉部保健医療課、岐阜県肝炎対策協議会、岐阜県医師会に調査協力を依頼し、各方面の協力を得ることができた。そこで追跡調査表を作成し、岐阜県健康福祉部保健医療課から各市町村に対して調査の協力を依頼していただき、同意協力が得られた 6 市 7 町 1 村の方から肝炎ウイルス検診陽性者（対象者 683 人）に対して追跡調査表を送付した。調査表が回収できたら、今後は結果を集計する予定である。

岐阜県ではいままでに県民健康セミナー、市民公開講座、肝臓病個別相談会、各医療機関における肝臓病教室、新聞やラジオ報道などで定期的に肝炎ウイルス検診や肝炎治療の必要性を啓蒙してきている。さらに今後は、今回の追跡調査により肝炎ウイルス検診陽性であるが医療機関を受診していない肝炎ウイルスキャリアーの実態を把握するとともに、

医療機関への受診・治療勧奨の体制確立が重要であり、そのためには県健康福祉部保健医療課、県医師会、各市町村医師会や保健所などと連携が不可欠である。

E. 結論

岐阜県における平成 20 年 4 月から 24 年 11 月にかけてのインターフェロン治療医療費助成申請件数は 2,039 件（B 型肝炎 50 件、C 型肝炎 1,989 件）、22 年 4 月から開始された B 型肝炎に対する核酸アナログ製剤治療医療費助成申請件数は 24 年 11 月までに 1,225 件であり、治療内容をみるとおおむね「肝炎治療ガイドライン」に沿って治療されており、患者の自己負担額も大幅に軽減されていた。岐阜県において平成 14 年～18 年にかけて施行された住民検診（節目検診、節目外検診）により、HBV 感染者は合計 1,854 人、HCV 感染者は合計 2,790 人が発見されている。しかしながらこれらの肝炎ウイルス検診陽性者の医療機関受診状況や治療の実態は全く把握されていないのが現状である。そこで県健康福祉部保健医療課、県肝炎対策協議会、県医師会、各市町村などの協力を得て、肝炎ウイルス検診で陽性を指摘されているにもかかわらず医療機関を受診していない肝炎ウイルスキャリアーの実態や各種の治療状況を把握する目的で、肝炎ウイルス検診陽性者に対しての追跡調査を実施した。調査対象は同意協力が得られた 6 市 7 町 1 村の 683 人であり、現在調査表を回収中であり、今後集計分析する予定である。今回の追跡調査結果により、肝炎ウイルス検診陽性であるが医療機関を受診していない肝炎ウイルスキャリアーの実態を把握し、さらに今後は県健康福祉部保健医療課、県医師会、各市町村や保健所などと連携しながら、医療機関への受診や治療勧奨を目指した体制の確立が重要となるであろう。



201227012B (2/3)

厚生労働科学研究費補助金
肝炎等克服緊急対策研究事業

肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び
治療導入対策に関する研究

(課題番号 H22 - 肝炎 - 一般 - 012)

平成22年度～24年度 研究成果一 1

研究代表者 田中 純子

平成25 (2013) 年3月

厚生労働科学研究費補助金
肝炎等克服緊急対策研究事業

肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び

治療導入対策に関する研究

(課題番号 H22 - 肝炎 - 一般 - 012)

平成22年度～24年度 研究成果－1

研究代表者 田中 純子

平成25 (2013) 年3月

肝炎ウイルス感染状況・長期経過と予後調査及び治療導入対策に関する研究
班構成

研究代表者

田中 純子 広島大学大学院 疫学・疾病制御学 教授

研究分担者

小山 富子 岩手県予防医学協会 医療技術部 部長
 日野 啓輔 川崎医科大学 内科学（肝胆膵） 教授
 三浦 宜彦 埼玉県立大学 学長
 阿部 弘一 岩手医科大学 内科学講座消化器・肝臓分野 非常勤講師
 池田 健次 虎の門病院 消化器科/肝臓センター 部長
 鳥村 拓司 久留米大学 先端癌治療研究センター 教授
 相崎 英樹 国立感染症研究所 ウイルス第二部 室長
 酒井 明人 金沢大学附属病院/富山県立中央病院 准教授/部長
 内田 茂治 日赤 中央血液研究所 感染症解析部 部長

研究協力者

松崎 靖司 東京医科大学 茨城医療センター 消化器内科 教授/病院長
 熊田 卓 大垣市民病院 消化器内科 部長
 谷 慶彦 大阪府南大阪赤十字血液センター 所長
 松倉 晴道 日本赤十字社 近畿ブロック血液センター 検査部副部長
 山崎 一美 長崎県奈良尾病院/長崎医療センター臨床疫学研究室 院長/室長
 水井 正明 広島県赤十字血液センター 顧問
 杉原 潤一 岐阜県総合医療センター消化器内科 部長
 星野 博美 デルタクリニック 研究員
 高橋 和明 東芝病院 研究部 主任研究員
 吉原 正治 広島大学保健管理センター 教授
 片山 恵子 広島大学大学院 疫学・疾病制御学 講師

目 次

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

----- 【書籍】

----- 【雑誌】

III. 研究成果の刊行物・別刷

----- 【書籍】

----- 【雑誌】

1. 総合研究報告 は、平成22～24年度 総合研究報告書【別冊】
に集録した。

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

平成22年度～平成24年度

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版者名	出版地	出版年	ページ	関連
1) 片山恵子、田 中純子	肝炎・肝癌の疫学	林 紀夫、 日比紀文、 上西紀夫、 下瀬川徹	Annual Review 消化器	中外医学社	東京	2013	88-93	
2) 日野啓輔	岡山県肝炎対策協議 会の肝がん撲滅運動 について-肝炎ウイル スキャリア対策の観 点から-	岡山県医師 会	岡山県医師会報	岡山県医師 会	岡山	2012	1712- 1714	○
3) 田中純子、小 山富子、相崎 英樹	C型肝炎ウイルス (HCV)による感染	日本臨床ウ イルス学会	臨床とウイルス	日本臨床ウ イルス学会	東京	2012	28-35	○
4) 相崎英樹	HCV感染と代謝異常 (脂質・エネル ギー)	医歯薬出版 株式会社	医学の歩み	医歯薬出版 株式会社	東京	2012	in press	○
5) 相崎英樹	HCV粒子形成に関与 する脂肪滴周辺蛋白 の同定と機能解析	株式会社メ ディカルト リビューン	Liver Forum in Kyoto第14回学 術集会記録集	株式会社メ ディカルト リビューン	東京	2012	30-33	
6) 相崎英樹	C型肝炎ウイルスの生 活環	ニューサイエ ンス社	細胞	ニューサイエ ンス社	東京	2012	in press	

平成24（2012）年度 研究成果の刊行に関する一覧表 【雑誌】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
1) Kumada T, Toyoda H, Kiriya S, Tanikawa M, Hisanaga Y, Kanamori A, Tada T, Tanaka J	Characteristics of elderly hepatitis C virus-associated hepatocellular carcinoma patients	Journal of Gastroenterology and Hepatology	28(2)	357-364	2013	○
2) Kumada T, Toyoda H, Tada T, Kiriya S, Tanikawa M, Hisanaga Y, Kanamori A, Niinomi T, Yasuda S, Ando Y, Yamamoto K, Tanaka J	Effect of nucleos(t)ide analogue therapy on hepatocarcinogenesis in chronic hepatitis B patients: a propensity score analysis	Journal of Hepatology	58(3)	427-433	2013	○
3) 田中純子	C型肝炎はどのように日本で蔓延し肝臓をもたらしたのか -肝臓抑制の実地診療のすすめかた-	Medical Practice	30(2)	194-202	2013	○
4) 仁科惣治、栗原淳子、則安俊昭、糸島達也、山本和秀、田中純子、日野啓輔	岡山県における肝炎ウイルス検出陽性者の医療機関受診等に関する追跡調査	肝臓	54(1)	84-86	2013	○
5) Murakami Y, Toyoda H, Tanahashi T, Tanaka J, Kumada T, Yoshioka Y, Kosaka N, Ochiya T, Taguchi Y-h	Comprehensive miRNA expression analysis in peripheral blood can diagnose liver disease	PLOS ONE	7(10)	e48366	2012	○
6) Matsuo J, Mizui M, Okita H, Katayama K, Aimitsu S, Sakata T, Obayashi M, Nakanishi T, Chayama K, Miyakawa Y, Yoshizawa H, Tanaka J. (Hiroshima Hepatitis Study Group)	Follow up of the 987 blood donors found with hepatitis C virus infection over 9-18 years.	Hepatology Research	42(7)	637-647	2012	○
7) 片山恵子、松尾順子、秋田智之、田淵文子、酒井明人、田中純子	肝炎ウイルス検査の受診状況等に関する聞き取り調査報告	肝臓	53(11)	707-720	2012	○
8) 杉山裕美、小笹晃太郎、田中純子、梯正之、恒松美輪子、武田直也、有田健一、鎌田七男	広島県の小児がん患者の居住地と診断・治療医療機関との関係、2004年～2008年	広島医学	65(11)	685-695	2012	○
9) 藤井紀子、原川貴之、秋田智之、田中純子	リスクを有する「肥満ではないグループ」を保健指導の対象とする新階層化の試み	日本予防医学会雑誌	7(3)	119-123	2012	○
10) 田中純子	B型肝炎に関する疫学調査の最新情報	医学のあゆみ	242(5)	373-380	2012	○
11) 田中純子	わが国におけるC型肝炎の疫学	臨床消化器内科	27(11)	1413-1422	2012	○
12) 田中純子、三浦宜彦	わが国における肝臓の疫学	肝胆膵	65(6)	985-992	2012	○
13) 田中純子	わが国におけるB型肝炎・C型肝炎ウイルスキャリアの現状	化学療法領域	28(1)	18-27	2012	○
14) 秋田智之、曾我部愛由子、池本珠莉、大竹ひかり、柴田真美、久保川佳子、榎響子、村上茂、田中純子	30歳代における乳がん検診導入、及びその方法に関する医療経済的考察—増分費用効果・費用便益の観点から—	日本予防医学会雑誌	7(1)	31-37	2012	○
15) 田中純子、小山富子、相崎英樹	C型肝炎ウイルス（HCV）による感染	臨床とウイルス	40(1)	28-35	2012	○
16) 田中純子	肝臓の疫学と対策	内科	109(3)	386-392	2012	○

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
17) 日野郁生、高橋雅彦、高梨美乃子、内田茂治、中島一格	HCV-RNAの検出からHCV抗体が検出されるまでに52週を要した1症例.	日本血液事業学会誌	34	595-598	2012	
18) Matsumoto C, Igarashi M, Furuta RA, Uchida S, Satake M, Tadokoro K	Xenotropic Murine Leukemia Virus-Related Virus Proviral DNA Not Detected in Blood Samples Donated in Japan.	Japanese Journal of Infectious Diseases	65	334-336	2012	
19) Taira R, Satake M, Momose S, Hino S, Suzuki Y, Murokawa H, Uchida S, Tadokoro K.	Residual risk of transfusion-transmitted hepatitis B virus (HBV) infection caused by blood components derived from donors with occult HBV infection in Japan.	Transfusion	in press		2012	○
20) 内田茂治	輸血後感染症副作用およびその検査	検査と技術	40(9)	818-821	2012	
21) 内田茂治	献血者におけるHBV感染状況	医学のあゆみ	242(5)	494-498	2012	○
22) 仁科憲治, 日野啓輔	肝発癌と鉄代謝異常	日本消化器病学会雑誌	109(4)	571-584	2012	○
23) Keisuke Hino	No association for Chinese HBV-related hepatocellular carcinoma susceptibility SNP in other East Asian populations	BMC Medical Genetics	13		2012	○
24) Keisuke Hino, Sohji Nishina, Yuichi Hara	Iron metabolic disorder in chronic hepatitis C: insights from recent evidence	Clin J Gastroenterol	5(4)	251-256	2012	○
25) 酒井明人	石川県の肝癌撲滅計画	The GI Forefront	7	119-121	2012	○
26) 片山恵子、松尾順子、秋田智之、田淵文子、酒井明人、田中純子	肝炎ウイルス検査の受診状況等に関する聞き取り調査報告	肝臓	53	707-720	2012	○
27) 池田健次	HCV-RNA消失後（SVR後）の肝細胞癌の発生	Liver Cancer	18(1)	9-12	2012	
28) Akuta N, Suzuki F, Hirakawa M, Kawamura Y, Sezaki H, Suzuki Y, Hosaka T, Kobayashi M, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Chayama K, Nakamura Y, Kumada H.	Amino acid substitution in HCV core/NS5A region and genetic variation near IL28B gene affect treatment efficacy to interferon plus ribavirin combination therapy	Intervirology	55(3)	231-241	2012	○
29) Akuta N, Suzuki F, Seko Y, awamura Y, Sezaki H, Suzuki Y, Hosaka T, Kobayashi M, Hara T, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Kumada H.	Complicated Relationships of Amino Acid Substitution in Hepatitis C Virus Core Region and IL28B Genotype Influencing Hepatocarcinogenesis	Hepatology	56	2134-2141	2012	○
30) Suzuki F, Arase Y, Suzuki Y, kuta N, Sezaki H, Seko Y, Kawamura Y, Hosaka T, Kobayabashi M, Saitoh S, Ikeda K, Kobayashi M, Kumada H..	Long-term efficacy of interferon therapy in patients with chronic hepatitis B virus infection in Japan	J Gastroenterol	47	814-822	2012	○
31) Suzuki F, Sezaki H, Akuta N, uzuki Y, Seko Y, Kawamura Y, Hosaka T, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Kobayashi M, Mineta R, Watahiki S, Miyakawa Y, Kumada H.	Prevalence of hepatitis C virus variants resistant to NS3 protease inhibitors or the NS5A inhibitor (BMS-790052) in hepatitis patients with genotype 1b	J Clin Virol	54	352-354	2012	○

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
3 2) Arase Y, Kawamura Y, Suzuki Y, Suzuki F, Akuta N, Matsumoto, N, Seko Y, Sezaki H, Kobayashi M, Hosaka T, Hirakawa M, Saitoh S, Ikeda K, Kobayashi M, Umada H.	Efficacy of reduction therapy of natural human β -interferon and ribavirin in elderly patients with chronic hepatitis C, genotype 1b and high viral load	Hepato Res	42	949-957	2012	○
3 3) Akuta N, Suzuki F, Seko Y, Kawamura Y, Sezaki H, Suzuki Y, Hosaka T, Kobayashi M, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Kumada H.	Association of IL28B Genotype and Viral Response of Hepatitis C Virus Genotype 2 to Interferon Plus Ribavirin Combination Therapy	J Med Virol	84	1593-1599	2012	○
3 4) Takeyasu M, Akuta N, Suzuki F, Seko Y, Kawamura Y, Sezaki H, Suzuki Y, Hosaka T, Kobayashi M, Kobayashi M, Arase Y, Ikeda K, Kumada H.	Long-term interferon monotherapy reduces the risk of HCV-associated hepatocellular carcinoma	J Med Virol	84	1199-1207	2012	○
3 5) Akuta N, Suzuki F, Seko Y, Kawamura Y, Sezaki H, Suzuki Y, Hosaka T, Kobayashi M, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Kumada H.	Determinants of response to triple therapy of telaprevir, peginterferon, and ribavirin in previous non-responders infected with HCV genotype 1	J Med Virol	84	1097-1105	2012	○
3 6) Arase Y, Kobayashi M, Suzuki F, Suzuki Y, Kawamura Y, Akuta N, Imai N, Kobayashi M, Sezaki H, Matsumoto N, Saitoh S, Hosaka T, Ikeda K, Kumada H, Ohmoto Y, Amakawa K, Hsieh SD, Ogawa K, Tanabe M, Tsuji H, Kobayashi T.	Difference in malignancies of chronic liver disease due to non-alcoholic fatty liver disease or hepatitis C in Japanese elderly patients	Hepato Res	42	264-272	2012	○
3 7) Karino Y, Toyota J, Ikeda K, Suzuki F, Chayama K, Kawakami Y, Ishikawa H, Watanabe H, Dennis Hernandez, Fei Yu, Fiona McPhee, Kumada H.	Characterization of virologic escape in hepatitis C virus genotype 1b patients treated with the direct-acting antivirals daclatasvir and asunaprevir	J Hepato Res	2012.11.012	In press	2012	○
3 8) Suzuki Y, Ikeda K, Suzuki F, Toyota J, Karino Y, Chayama K, Kawakami Y, Ishikawa H, Watanabe H, Wenhua Hu, Timothy Eley, Fiona McPhee, Eric Hughes, Kumada H.	Dual Oral Therapy with Daclatasvir and Asunaprevir for Patients with HCV Genotype 1b Infection and Limited Treatment Options	J Hepato Res	2012.09.037	In press	2012	○
3 9) Suzuki F, Suzuki Y, Sezaki H, Akuta N, Seko Y, Kawamura Y, Hosaka T, Kobayashi M, Saitoh S, Arase Y, Ikeda K, Mineta R, Watahiki S, Kobayashi M, Nakayasu Y, Tsuda H, Aoki K, Yamada I, Kumada H.	Exploratory study on telaprevir given every 8 h at 500 mg or 750 mg with peginterferon-alpha-2b and ribavirin in hepatitis C patients	Hepato Res	In press		2012	○
4 0) Torimura T, Ueno T, Taniguchi E, Masuda H, Iwamoto H, Nakamura T, Inoue K, Hashimoto O, Abe M, Koga H, Barresi V, Nakashima E, Yano H, Sata M	Interaction of endothelial progenitor cells expressing cytosine deaminase in tumor tissues and 5-fluorocytosine administration suppresses growth of 5-fluorouracil-sensitive liver cancer in mice	Cancer Sci	103	542-548	2012	

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
4 1) Abe M, Koga H, Yoshida T, Masuda H, Iwamoto H, Sakata M, Hanada S, Nakamura T, Taniguchi E, Kawaguchi T, Yano H, <u>Torimura I</u> , Ueno T, Sata M.	Hepatitis C virus core protein upregulates the expression of vascular endothelial growth factor via the nuclear factor- κ B/hypoxia-inducible factor-1 α axis under hypoxic conditions	Hepatology Res	42	591-600	2012	
4 2) Hino-Arinaga T, Ide T, Kuromatsu R, Miyajima I, Ogata K, Kuwahara R, Hisamochi A, <u>Torimura I</u> , Sata M; Autoimmune Hepatitis Study Group	Risk factors for hepatocellular carcinoma in Japanese patients with autoimmune hepatitis type 1	J Gastroenterol	47	569-576	2012	○
4 3) Niizeki T, Sumie S, <u>Torimura I</u> , Kurogi J, Kuromatsu R, Iwamoto H, Aino H, Nakano M, Kawaguchi A, Kakuma T, Sata M	Serum vascular endothelial growth factor as a predictor of response and survival in patients with advanced hepatocellular carcinoma undergoing hepatic arterial infusion chemotherapy	J Gastroenterol	47	686-695	2012	○
4 4) Inoue K, <u>Torimura I</u> , Nakamura T, Iwamoto H, Masuda H, Abe M, Hashimoto O, Koga H, Ueno T, Yano H, Sata M	Vandetanib, an inhibitor of VEGF receptor-2 and EGF receptor, suppresses tumor development and improves prognosis of liver cancer in mice	Clin Cancer Res	18	3924-3933	2012	
4 5) 佐田通夫 (司会)、波多野悦朗、金井文彦、 <u>鳥村拓司</u>	進行肝細胞癌の治療 - 現状と今後の展望 -	The Liver Cancer Journal	4	171-182	2012	○
4 6) <u>鳥村拓司</u>	肝細胞癌に対する血管新生抑制療法の試み	久留米医学会雑誌	75	199-206	2012	
4 7) Nakano M, Tanaka M, Kuromatsu R, Nagamatsu H, Sakata K, Matsugaki S, Kajiwara M, Fukuizumi K, Tajiri N, Matsukuma N, Sakai T, Ono N, Yano Y, Koga H, Kurogi J, Takata A, Sumie S, Satani M, Yamada S, Niizeki T, Aino H, Iwamoto H, <u>Torimura I</u> , Sata M	Efficacy, safety, and survival factors for Sorafenib treatment in Japanese patients with advanced hepatocellular carcinoma	Oncology	84	108-114	2012	○
4 8) Liu HM, <u>Aizaki H</u> , Machida K, Ou JH, Lai MM.	Hepatitis C virus translation preferentially depends on active RNA replication.	PLoS One	7	e43600	2012	
4 9) Suzuki R, Saito K, Kato T, Shirakura M, Akazawa D, Ishii K, <u>Aizaki H</u> , Kanegae Y, Matsuura Y, Saito I, Wakita T, Suzuki T.	Trans-complemented hepatitis C virus particles as a versatile tool for study of virus assembly and infection.	Virology	10	29-38	2012	
5 0) Murayama A, Sugiyama N, Watashi K, Masaki T, Suzuki R, <u>Aizaki H</u> , Mizuochi T, Wakita T, Kato T.	Japanese reference panel of blood specimens for evaluation of hepatitis C virus RNA and core antigen quantitative assays.	J Clin Microbiol	50	1943-1949	2012	○
5 1) Ando T, Imamura H, Suzuki R, <u>Aizaki H</u> , Watanabe T, Wakita T, Suzuki T.	Visualization and Measurement of ATP Levels in Living Cells Replicating Hepatitis C Virus Genome RNA.	PLOS Pathogen	8	e1002561	2012	
5 2) Ikegami T, Hyogo H, Honda A, Miyazaki T, Tokushige K, Hashimoto E, Inui K, <u>Matsuzaki Y</u> , Tazuma S	Increased serum liver X α receptor ligand oxysterols in patients with non-alcoholic fatty liver disease	Journal of Gastroenterology	47	1257-1266	2012	○

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
53) Honda A, Ikegami T, Nakamuta M, Miyazaki T, Iwamoto J, Hirayama T, Saito Y, Takikawa H, Imawari M, <u>Matsuzaki Y</u>	Anticholestatic effects of bezafibrate in patients with primary biliary cirrhosis treated with ursodeoxycholic acid	Hepatology	(e-pub of ahead)			○
54) Miyazaki T, <u>Matsuzaki Y</u>	Taurine and liver diseases: a focus on the heterogeneous protective properties of taurine	Amino Acids	(e-pub of ahead)			○
55) Iwamoto J, Saito Y, Honda A, Miyazaki T, Ikegami T, <u>Matsuzaki Y</u>	Bile acid malabsorption deactivates pregnane X receptor in patients with Crohn's disease. Inflammatory Bowel Diseases.	Inflammatory Bowel Diseases	in press			
56) <u>松崎 靖司</u>	【消化器疾患診療のすべて】消化器疾患の診断と治療 肝薬物性肝障害	日本医師会雑誌	141(S2)	S264-S267	2012	
57) <u>松崎 靖司</u>	【いま、内科薬はこう使う】消化器薬 グリチルリチン製剤	medicana	49(11)	201-203	2012	○
58) 池上 正, <u>松崎 靖司</u>	【C型肝炎のこれからの診かた】肝炎Q&A IFS 治療不応・高齢者C型慢性肝炎難治例の肝庇護療法	日本医事新法	4614	78-79	2012	○
59) 岩本 淳一, 齊藤 吉史, 村上 昌, 伊藤 真典, 門馬 匡邦, 小西 直樹, 屋良 昭一郎, 平山 剛, 本多 彰, 池上 正, <u>松崎 靖司</u>	ph依存性メサラジン放出調節剤の治療効果についての検討	Progress in medicine	32(7)	1517-1519	2012	
60) 野村 秀幸, 狩野 吉康, 芥田 憲夫, <u>松崎 靖司</u>	C型慢性肝炎治療 3剤併用療法	たんじゅうさん	11(1)	3-14	2012	○
61) 岩本 淳一, 齊藤 吉史, <u>松崎 靖司</u>	【(必携)内視鏡リファレンスブック2012】胃・十二指腸 NSAIDs 関連上部消化管病変	消化器内視鏡	24(4)	504-508	2012	
62) <u>松崎 靖司</u>	話題のくすり テラプレビル	日本病院薬剤師会雑誌	48(5)	653-657	2012	○
63) <u>松崎 靖司</u>	γ -GTPとLDHのみ高値の理由	日本医事新報	4595	54-55	2012	○
64) Arai T, Ueshima K, Matsumoto K, Nagai T, Kimura H, Hagiwara S, Sakurai T, Haji S, Kanazawa A, Hidaka H, Iso Y, Kubota K, Shimada M, Utsunomiya T, Hirooka M, Hiasa Y, Toyoki Y, Hakamada K, Yasui K, <u>Kumada I</u> , Toyoda H, Sato S, Hisai H, Kuzuya T, Tsuchiya K, Izumi N, Arii S, Nishio K, Kudo M.	FGF3/FGF4 amplification and multiple lung metastases in responders to sorafenib in hepatocellular carcinoma.	Hepatology.	57(4)	1407-1415	2013	○
65) Toyoda H, <u>Kumada I</u> , Shimada N, Takaguchi K, Ide T, Sata M, Ginba H, Matsuyama K, Izumi N.	Baseline factors and early viral response (week 4) to antiviral therapy with peginterferon and ribavirin for predicting sustained virologic response in patients infected with hepatitis C virus genotype 1: a multicenter study.	J Med Virol.	85(1)	65-70	2013	○
66) Murakami Y, Toyoda H, Tanahashi T, Tanaka J, <u>Kumada I</u> , Yoshioka Y, Kosaka N, Ochiya T, Taguchi YH	Comprehensive miRNA expression analysis in peripheral blood can diagnose liver disease.	PLoS One	7		2012	○

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
67) Toyoda H, <u>Kumada I</u> , Tada T, Hayashi K, Honda T, Katano Y, Goto H, Kawaguchi T, Murakami Y, Matsuda F.	Predictive value of early viral dynamics during peginterferon and ribavirin combination therapy based on genetic polymorphisms near the IL28B gene in patients infected with HCV genotype 1b.	J Med Virol.	84(1)	61-70	2012	○
68) Toyoda H, <u>Kumada I</u> , Tada T, Sone Y, Fujimori M.	Transarterial chemoembolization for hepatitis B virus-associated hepatocellular carcinoma: improved survival after concomitant treatment with nucleoside analogues.	J Vasc Interv Radiol.	23(3)	317-22	2012	○
69) Hayashi K, Katano Y, Kuzuya T, Tachi Y, Honda T, Ishigami M, Itoh A, Hirooka Y, Ishikawa T, Nakano I, Urano F, Yoshioka K, Toyoda H, <u>Kumada I</u> , Goto H.	Prevalence of hepatitis C virus genotype 1a in Japan and correlation of mutations in the NS5A region and single-nucleotide polymorphism of interleukin-28B with the response to combination therapy with pegylated-interferon-alpha 2b and ribavirin.	J Med Virol.	84(3)	438-44	2012	○
70) Toyoda H, <u>Kumada I</u> .	Favorable association between genetic polymorphisms near the IL28B gene and hepatic steatosis: direct or indirect?	J Hepatol.	56(3)	738-9	2012	○
71) Kanke F, Kumada T, Toyoda H, Satomura S.	Reference change values for lens culinaris agglutinin-reactive α -fetoprotein and des- γ -carboxy prothrombin in patients with chronic hepatitis C.	Clin Chem Lab Med.	50(5)	957-60	2012	○
72) Toyoda H, <u>Kumada I</u> , Osaki Y, Tada T, Kaneoka Y, Maeda A.	Novel method to measure serum levels of des-gamma-carboxy prothrombin for hepatocellular carcinoma in patients taking warfarin: a preliminary report.	Cancer Sci.	103(5)	921-5	2012	○
73) Toyoda H, <u>Kumada I</u> .	Incidence of hepatocellular carcinoma and response to interferon therapy in HCV-infected patients: effect of factors associated with the therapeutic response and incidence of HCC.	Liver Int.	32(6)	1029-31	2012	○
74) Toyoda H, <u>Kumada I</u> , Katano Y, Goto H.	Week 4 viral response to peginterferon and ribavirin: how should it be used in combination with a baseline predictive factor?	J Hepatol.	57(4)	927-8	2012	○
75) Hayashi K, Katano Y, Masuda H, Ishizu Y, Kuzuya T, Honda T, Ishigami M, Itoh A, Hirooka Y, Nakano I, Ishikawa T, Urano F, Yoshioka K, Toyoda H, <u>Kumada I</u> , Goto H.	Pegylated interferon monotherapy in patients with chronic hepatitis C with low viremia and its relationship to mutations in the NS5A region and the single nucleotide polymorphism of interleukin-28B.	Hepatol Res.			2012	○
76) <u>Kumada I</u> , Toyoda H, Tada T, Kiriya S, Tanikawa M, Hisanaga Y, Kanamori A, Niinomi T, Yasuda S, Andou Y, Yamamoto K, Tanaka J.	Effect of nucleos(t)ide analogue therapy on hepatocarcinogenesis in chronic hepatitis B patients: A propensity score analysis.	J Hepatol	58	427-433	2013	○

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
77) Toyoda H, Kumada I, Shimada N, Takaguchi K, Ide T, Sata M, Ginba H, Matsuyama K, Izumi N.	Significance of a reduction in HCV RNA levels at 4 and 12 weeks in patients infected with HCV genotype 1b for the prediction of the outcome of combination therapy with peginterferon and ribavirin.	BMC Infect Dis.	12(1)		2012	○
78) Toyoda H, Kumada I, Tada T, Kaneoka Y, Maeda A.	Placement of a sodium hyaluronate solution onto the liver surface as a supportive procedure for radiofrequency ablation of hepatocellular carcinomas located on the liver surface: a preliminary report.	J Vasc Interv Radiol.	23(12)	1639-1645	2012	○
79) Toyoda H, Kumada I, Tada T, Niinomi T, Ito T, Kaneoka Y, Maeda A.	Prognostic significance of a combination of pre- and post-treatment tumor markers for hepatocellular carcinoma curatively treated with hepatectomy.	J Hepatol.	57(6)	1251-7	2012	○
80) Toyoda H, Kumada I, Tada T.	Lower incidence of hepatocellular carcinoma in patients with transient virologic response to peginterferon and ribavirin combination therapy: Is it really the effect of the therapy?	J Hepatol.			2012	○
81) Toyoda H, Kumada I, Tada T, Niinomi T, Ito T, Sone Y, Kaneoka Y, Maeda A.	Non-hypervascular Hypointense Nodules Detected by Gd-EOB-DTPA-enhanced MRI is a Risk Factor for Recurrence of HCC after Hepatectomy.	J Hepatol.			2013	○
82) Honda T, Katano Y, Kuzuya T, Hayashi K, Ishigami M, Itoh A, Hirooka Y, Nakano I, Ishikawa T, Toyoda H, Kumada I, Yamamoto K, Matsushita T, Kojima T, Takamatsu J, Goto H.	Comparison of the efficacy of ribavirin plus peginterferon alfa-2b for chronic hepatitis C infection in patients with and without coagulation disorders.	J Med Virol.	85(2)	228-34	2012	○
83) Kumada I, Toyoda H, Kiriya S, Tanikawa M, Hisanaga Y, Kanamori A, Tada T, Tanaka J.	Characteristics of elderly hepatitis C virus-associated hepatocellular carcinoma patients.	J Gastroenterol Hepatol.	28(2)	357-64	2012	○
84) Toyoda H, Kumada I, Kiriya S, Tanikawa M, Hisanaga Y, Kanamori A, Tada T, Murakami Y.	Higher hepatic gene expression and serum levels of matrix metalloproteinase-2 are associated with steatohepatitis in non-alcoholic fatty liver diseases.	Biomarkers.	18(1)	Jun-78	2013	○
85) 多田 俊史, 熊田 卓, 桐山 勢生, 谷川 誠, 豊田 秀徳, 久永 康宏, 金森 明, 新家 卓郎, 安東 直人, 坂井 圭介, 安田 諭, 木村 純, 安藤 祐資, 山本 健太	【B型肝炎の抗ウイルス療法の進歩と耐性】 B型肝炎に対する核酸アナログ投与例の長期予後	消化器内科	54(5)	608-613	2012	○
86) 貴田岡 正史, 熊田 卓, 松田 康雄, 飯島 尊子, 小川 眞広, 工藤 信樹, 小原 和史, 紺野 啓, 高倉 玲奈, 西田 睦, 南康範, 森 秀明, 山田 昌彦	肝腫瘍の超音波診断基準	超音波医学	39(3)	317-326	2012	○
87) 熊田 卓, 豊田 秀徳, 多田 俊史, 金森 明, 竹島 賢治, 乙部 克彦	【肝癌の造影超音波検査】 造影超音波診断(症例編) 肝細胞癌以外の肝腫瘍典例	Medical Technology	別冊超音波エキスパート13	43-58	2012	○
88) 熊田 卓	肝機能性画像の肝細胞癌診断における役割	肝臓フォーラム記録集	2011巻	205-217	2012	○
89) 熊田 卓	肝細胞癌の診断、治療、予防の最前線 肝細胞癌発生の最近の動向	肝臓フォーラム記録集	2011巻	26-34	2012	○

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
90) 多田 俊史(大垣市民病院 消化器内科), 熊田 卓, 桐山 勢生, 谷川 誠, 豊田 秀徳, 久永 康宏, 金森 明, 曾根 康博, 小川 定信	【早期肝細胞癌の画像診断update】大垣市民病院におけるEOB-MRIの肝細胞相で検出される乏血性結節の自然経過	肝胆膵画像	14(4)	345-350	2012	○
91) 多田 俊史, 熊田 卓, 豊田 秀徳	【見逃してはいけない消化器疾患-消化器救急疾患・消化器癌を中心に-】消化器癌の見逃しを防ぐ 早期発見・適切な治療のための診断の実際 肝臓癌	消化器の臨床	15(1)	75-81	2012	○
92) 大島靖広, 馬淵正敏, 小原功輝, 岩砂淳平, 安藤暢洋, 岩田圭介, 芋瀬基明, 清水省吾, 安田一朗, 松橋延壽, 前田健一, 河合雅彦, 岩田仁, 國枝克行, 杉原潤一	胆道出血を伴う胆嚢小細胞癌の1症例	肝胆膵治療研究会誌	10(1)	67-72	2012	
93) 安藤暢洋, 加藤潤一, 馬淵正敏, 小原功輝, 岩砂淳平, 大島康広, 岩田圭介, 芋瀬基明, 大西隆哉, 清水省吾, 杉原潤一, 岩田仁, 安田一朗, 森脇久隆	膵漿液性嚢胞腺腫に膵臓扁平上皮癌を合併した1例	日本消化器病学会雑誌	109	442-450	2012	

平成23（2011）年度 研究成果の刊行に関する一覧表 【書籍】

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版者名	出版地	出版年	ページ	関連
1) 田中純子	肺炎ウイルスの感染予防について	泉 並木	ガイドライン/ガイダンス 慢性肝炎	日本医事新報社	東京	2011	14-19	○
2) 田中純子、片山恵子	II.C型肝炎 我が国におけるC型肝炎の疫学-国際比較を含めて-		新時代のウイルス性肝炎学	日本臨床 増刊号	大阪	2011	15-22	○
3) 田中純子、松尾順子	III.B型肝炎 我が国におけるB型肝炎の疫学-国際比較を含めて-		新時代のウイルス性肝炎学	日本臨床 増刊号	大阪	2011	327-334	○
4) 内田茂治、田所憲治	NAT検査法、献血における検出状況	山口一成	医薬品の品質管理とウイルス安全性	文光堂	東京	2011	83-91	○
5) 日野啓輔、富山恭行、吉岡奈穂子	進行肝癌に対する5-FU動注/IFN治療効果予測因子としての末梢血単核球(PBMC)IFN receptorの意義—a pilot study—	犬山シンポジウム記録刊行会	第28回犬山シンポジウム記録集 肝炎・肝癌の新しい診断と治療	メディカルトリビューン	東京	2011	185-190	○
6) 是永匡紹、池田正徳、加藤宣之、日野啓輔	過剰鉄とミトコンドリア障害が誘導する酸化ストレスはC型肝炎ウイルス増殖を抑制する	沖田 極	第7回「酸化ストレスと肝」研究会記録 酸化ストレスと肝疾患 第7巻	メディカルトリビューン	東京	2011	41-46	○
7) 日野啓輔、仁科惣治、是永匡紹	C型肝炎における鉄代謝異常	日本臨床分子形態学会	モノグラフ 病気の分子形態学	学際企画株式会社	東京	2011	112-115	○
8) 池田健次	肝細胞癌の治療	林紀夫 日比紀文 上西紀夫 下瀬川徹	Annual Review消化器2011	中外医薬社	東京	2011	195-212	○
9) 相崎英樹、脇田隆字	HCV感染における脂質代謝の変化とメタボロミクス解析	小俣政男	肝胆膵	アークメディア	東京	2011	948-953	
10) 相崎英樹、鈴木哲朗、脇田隆字	HCV生活環における脂質の役割	井廻道夫	日本臨床	日本臨床社	大阪	2011	59-63	
11) 池上正、松崎靖司	パンチ症候群	井村裕夫	症候群ハンドブック	中山書店	東京	2011	272	
12) 池上正、松崎靖司	慢性肝炎患者をどのように指導するか	井廻道夫	これでわかる！慢性肝炎の治療戦略 肝癌を防ぐためのマネジメント	羊土社	東京	2011	129-135	○

平成23（2011）年度 研究成果の刊行に関する一覧表 【雑誌】

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
1) Tanaka J, Koyama I, Mizui M, Uchida S, Katayama K, Matsuo J, Akita T, Nakashima A, Miyakawa Y, Yoshizawa H	Total Numbers of Undiagnosed Carriers of Hepatitis C and B Viruses in Japan Estimated by Age- and Area-specific Prevalence on the National Scale	Intervirolgy	54(4)	185-195	2011	○
2) Tomoguri T, Katayama K, Tanaka J, Yugi H, Mizui M, Miyakawa Y, Yoshizawa H	Interferon Alone or Combined with Ribavirin for Acute Prolonged Infection with Hepatitis C Virus in Chimpanzees	Intervirolgy	54(4)	229-232	2011	○
3) Kumada I, Toyoda H, Kiriya S, Tanikawa M, Hisanaga Y, Kanamoti A, Tada T, Tanaka J, Yoshizawa H	Predictive value of tumor markers for hepatocarcinogenesis in patients with hepatitis C virus	J Gastroenterol	46	536-544	2011	○
4) Sugiya N, Nakashima, Takasugi N, Kawai A, Kiribayashi K, Tanaka J, Kohno N, Yorioka N	Endogenous may prevent bone loss in postmenopausal hemodialysis patients	Osteoporos Int	22	1573-1579	2011	
5) Takenaka J, Mochizuki H, Kuniyama E, Tanaka J, Kiuchi Y	Evaluation of rebound tonometer for measuring intraocular pressure at deviated angle and position	Current Eye Research	36(5)	422-428	2011	
6) 松尾順子、田中純子	C型肝炎ウイルスキャリアの慢性肝炎発症率	日本医事新報		50-51	2011	○
7) 田中純子、片山恵子	B型肝炎 C型肝炎の疫学	Medical Practice	28(8)	1347-1353	2011	○
8) Sobata R, Matsumoto C, Igarashi M, Uchida S, Momose S, Hino S, Satake M, Tadokoro K	No viremia of pandemic (H1N1) 2009 was demonstrated in blood donors who had donated blood during the probable incubation period.	Transfusion	51	1949-1956	2011	
9) Furui S, Hoshi Y, Murata K, Ito K, Suzuki K, Uchida S, Satake M, Mizokami M, Tadokoro K	Prevalence of amino acid mutation in hepatitis C virus core region among Japanese volunteer blood donors.	Journal of Medical Virology	83	1924-1929	2011	○
10) 高橋雅彦、内田茂治	輸血、血液製剤によるHCV感染の現状とその予防対策	日本臨床	69(4)	114-121	2011	○
11) Tomiyama Y, Yoshioka N, Yanai Y, Kawase T, Nishina S, Hara Y, Yoshida K, Korenaga K, Korenaga M, Hino K.	Type 1 interferon receptor in peripheral blood mononuclear cells may predict response to intra-arterial 5-fluorouracil + interferon therapy for advanced hepatocellular carcinoma	Hepatic Medicine : Evidence and Research	3	45-52	2011	○
12) Korenaga M, Hidaka I, Nishina S, Sakai A, Shinozaki A, Gondo T, Furutani T, Kawano H, Sakaida I, Hino K.	A glycyrrhizin-containing preparation reduces hepatic steatosis induced by hepatitis C virus protein and iron in mice.	Liver Int	31	552-560	2011	
13) Ito K, Higami K, Masaki N, Sugiyama M, Mukaide M, Saito H, Aoki Y, Sato Y, Imamura M, Murata K, Nomura H, Hige S, Adachi H, Hino K, Yatsuhashi H, Orito E, Kani S, Tanaka Y, Mizokami M.	The rs8099917 polymorphism, when determined by a suitable genotyping method, is a better predictor for response to pegylated alpha interferon/ribavirin therapy in Japanese patients than other single nucleotide polymorphisms associated with interleukin-28B.	J Clin Microbiol	49	1853-1860	2011	
14) Doi N, Tomiyama Y, Kawase T, Nishina S, Yoshioka N, Hara Y, Yoshida K, Korenaga K, Korenaga M, Moriya T, Urakami A, Nakashima O, Kojiro M, Hino K.	Focal nodular hyperplasia-like nodule with reduced expression of organic anion transporter 1B3 in alcoholic liver cirrhosis.	Intern Med	50	1193-1199	2011	○

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年	関連
15) Matsuura K, Tanaka Y, Kusakabe A, Hige S, Inoue J, Komatsu M, Kuramitsu T, Hirano K, Ohno T, Hasegawa I, Kobashi H, Hino K, Hiasa Y, Nomura H, Sugauchi F, Nojiri S, Joh T, Mizokami M.	Recommendation of lamivudine-to-entecavir switching treatment in chronic hepatitis B responders: Randomized controlled trial.	Hepatol Res	41	505-511	2011	
16) Tanaka Y, Kurosaki M, Nishida N, Sugiyama M, Matsuura K, Sakamoto N, Enomoto N, Yatsushashi H, Nishiguchi S, Hino K, Hige S, Itoh Y, Tanaka E, Mochida S, Honda M, Hiasa Y, Koike A, Sugauchi F, Kaneko S, Izumi N, Tokunaga K, Mizokami M.	Genome-wide association study identified ITPA/DDR1 variants reflecting thrombocytopenia in pegylated interferon and ribavirin therapy for chronic hepatitis C.	Hum Mol Genet	20	3507-3516	2011	
17) Matsui M, Motoki Y, Inomoto T, Miura D, Kato Y, Suenaga H, Hino K, Nojima J.	Temperature-related effects of adenosine triphosphatase-activated microglia on pro-inflammatory factors.	Neurocrit Care	17(2)	293-300	2012	
18) 仁科悠治、是永匡紹、日野啓輔	HCV感染にかかわる病態 HCV感染と酸化ストレス	日本臨床	69 (増刊号4)	149-155	2011	
19) 富山恭行、是永匡紹、日野啓輔	非B非C肝細胞癌、特に成因不明肝細胞癌の臨床的特徴についての検討	第46回 日本肝癌研究会記録集		124-125	2011	○
20) 仁科悠治、是永匡紹、日野啓輔	肝炎ウイルスによる発癌のメカニズム	Medical Practice	28	1402-1407	2011	○
21) 仁科悠治、是永匡紹、日野啓輔	Glycyrrhizinはミトコンドリア保護作用を介してHCV蛋白と鉄負荷による肝脂肪化を抑制する	G.I.Research	19	400-401	2011	
22) 宮坂昭生、坂本十一、福田眞作、後藤隆、大西洋、上野義之、下瀬川徹、斉藤貴史、河田純男、大平弘正、小松眞史、阿部弘一、鈴木一幸	Serotype 1 高ウイルス量C型慢性肝炎に対するベグインターフェロン α -2b, リバビリン併用療法の有用性: 東北地区における多施設共同研究成績	肝臓	52(10)	652-661	2011	○
23) 酒井明人、荒井邦明、金子周一	肝臓癌の予防とサーベイランス	G.I.Research	19	334-341	2011	○
24) Honda M, Takehana K, Sakai A, Tagata Y, Shirasaki T, Nishitani S, Muramatsu T, Yamashita T, Nakamoto Y, Mizukoshi E, Sakai Y, Yamashita T, Nakamura M, Shimakami T, Yi M, Lemon SM, Suzuki T, Wakita T, Kaneko S; Hokuriku Liver Study Group	Malnutrition impairs interferon signaling through mTOR and FoxO pathways in patients with chronic hepatitis C	Gastroenterology	141	128-140	2011	
25) 酒井明人	石川県の肝癌撲滅計画	G.I.Research	7(2)	35-37	2012	○
26) Arase Y, Suzuki Y, Suzuki F, Matsumoto N, Akuta N, Imai N, Seko Y, Sezaki H, Kawamura Y, Kobayashi M, Hosaka T, Saito S, Ikeda K, Kobayashi M, Kumada H.	Efficacy and safety of combination therapy of natural human interferon beta and ribavirin in chronic hepatitis C patients.	Intern Med	50	2083-2088	2011	○
27) Kobayashi M, Hosaka T, Ikeda K, Seko Y, Kawamura Y, Sezaki H, Akuta N, Suzuki F, Suzuki Y, Saitoh S, Arase Y, Kumada H.	Highly sensitive AFP-L3% assay is useful for predicting recurrence of hepatocellular carcinoma after curative treatment pre- and postoperatively.	Hepatol Res	41(11)	1036-1045	2011	○
28) Imai N, Ikeda K, Seko Y, Kawamura Y, Sezaki H, Hosaka T, Akuta N, Kobayashi M, Saitoh S, Suzuki F, Suzuki Y, Arase Y, Kumada H.	Previous chemoembolization response after transcatheter arterial chemoembolization (TACE) can predict the anti-tumor effect of subsequent TACE with miriplatin in patients with recurrent hepatocellular carcinoma.	Oncology	80(3-4)	188-194	2011	○